

對稱死亡者現認證明書

死  
年  
月  
日  
所  
分  
區

幸  
由  
亡  
遺  
體  
死  
亡  
前  
後  
氏  
名

本籍地  
留并其南者現往竹  
牙地 氏 弟

姓名  
年  
月  
日  
死  
因  
現  
住  
地  
現  
住  
地  
現  
住  
地

現  
住  
地  
現  
住  
地  
現  
住  
地

現  
住  
地  
現  
住  
地  
現  
住  
地

右現認人

現往竹

竹  
地  
現  
住  
地

官  
事  
執  
行  
之  
人  
現  
住  
地



高

死亡者現認證明書

本籍地

現任地

所屬部隊名

官等級氏名

一死之年月日

一死之場所

一死之事由

(發病年月日及病名)

右ノ通り死之レタル事ヲ現認ス

現認者 本籍地

現任地 右全

所屬部隊 間島憲兵隊本部

元職官氏名印 陸軍衛生曹長

(印)

7-12



死 亡 現 証 明 書

陸 海 邦

資 料 提 供 者		死 亡 者			死 亡 時 現 状		死 亡 時 状 況		死 亡 時 現 状	
姓 名	職 務	元 因 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 亡 区 分	死 亡 時 現 状	死 亡 時 状 況	死 亡 時 現 状	死 亡 時 現 状	死 亡 時 現 状
法方たつ知を亡死	役者ト人程	遺骨及び遺骸の処理	外蒙、ホニルプロ	昭和二十一年二月十日頃	※ 戦、短死	※ 甲	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料
葬して墓塚として	氏外四名の死亡者	遺留品の処	ホニルプロにの墓地に積雪早く埋葬す				ホニルプロの病院には當時約百五十人程の患者がいたが、寒冷と栄養失調のため殆ど毎日のこと死亡者が出た	ホニルプロの病院には当時約百五十人程の患者がいたが、寒冷と栄養失調のため殆ど毎日のこと死亡者が出た	ホニルプロの病院には当時約百五十人程の患者がいたが、寒冷と栄養失調のため殆ど毎日のこと死亡者が出た	ホニルプロの病院には当時約百五十人程の患者がいたが、寒冷と栄養失調のため殆ど毎日のこと死亡者が出た
保関のと者亡死	満州コトバズ	遺留品の処					死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料
とら	隊員	遺留品の処					死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料
職部所所	隊員	遺留品の処					死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料
職部所所	隊員	遺留品の処					死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時の状況及び参考資料

裏面に記載上の注意を以ておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

A. 資料提供者

詳細な本人との関係	詳細な状況	場所	時期	備考
川島我友	<p>昭和33年5月10日                  伊豆山イコンイト河沿                  年令不明道面甲に物持をみたり                  か取敢にも時系の中やと入り                  思慮しつらたことか。然望軍の                  親衛にも、此心は、尚ほした。其                  望軍に、その、少半と夫我                  我死したといふことと我友より</p>	甲 乙 丙	甲 乙 丙	<p>甲 乙                  本誌                  甲 乙 丙</p>
所属				
所属				
所属				
所属				
氏名				

引 有 無 済 取 中 取 費

昭和33年度要録第100号

45-1



現況調査証明書

本籍地 [REDACTED]

所属部隊 陸軍第六師団第六旅団 [REDACTED] 隊  
昭和十九年従軍し現役中である旨(第三三三巻)

一 昭和二十年一月二十日午後三時三十分

二 死因 敵砲死 陸軍第六師団第六旅団 [REDACTED] 隊

三 死亡場所 朝鮮清津市近郊 [REDACTED] 山

四 死亡状況 死亡者と隊員との関係

死者とは昭和二十年一月二十日午後三時三十分  
間第一死亡者同隊員同、又隊員 [REDACTED]

五 死亡前後の状況

昭和二十年一月二十日午後三時三十分 [REDACTED] 自存 [REDACTED]

自存 [REDACTED] 同 [REDACTED] 隊員 [REDACTED]

其の埋死一死体は古茨山麓墓地に埋葬す

六 遺品 [REDACTED] 品 [REDACTED] 品 [REDACTED] 品 [REDACTED]

七 遺品 [REDACTED] 品 [REDACTED] 品 [REDACTED] 品 [REDACTED]

八 遺品 [REDACTED] 品 [REDACTED] 品 [REDACTED] 品 [REDACTED]

九 遺品 [REDACTED] 品 [REDACTED] 品 [REDACTED] 品 [REDACTED]

昭和二十年三月五日

所属部隊 陸軍第六師団第六旅団 第三三三隊 [REDACTED] 隊

調査所 [REDACTED]

調査員 陸軍第六師団第六旅団 [REDACTED] 隊

一 死亡者 [REDACTED]

二 調査員 [REDACTED] 氏父 [REDACTED]

昭和二十年三月五日

21-21

陸軍省 陸軍部 第三三三隊

# 資料通報名票

(甲)

添付

昭和二十一年三月廿五日

未南第 149 号

廣田首相秘書長

民権労働部長

個人資料	22 23 24	○ ○ ○ ○ ○ ○	宛 理由 発 送 精	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○
昭和21年2月29日 内 容 甲	死亡 事由 場所 時間 昭和 年月 日 時 分	元 区分 昭和 年月 日 時 分	検 印 通知先 第一封書室	本籍地 月 日	氏 名 氏名 年 月 日 生 女 (男)	職 務 役 種 兵 種 本籍地 月 日	名簿等の処理
未 南 選 者 等 の 番 号 5120							

三化資料の判別し、その資料の正確性を  
 保証するに、現況を調査し、その結果を  
 公表するものとする。



死亡者確認(證明)書

死亡者所屬部隊名 面名 朝鮮師第三四二七部隊

徵集年(任官年) 役種 兵種 昭和 昭和 年數 生

死亡者本籍地

官等級(発令年月日) 死亡前陸軍軍屬(発令年月日) 死亡後陸軍

氏名 生年月日 年 月 日生

死亡年月日時刻 死亡区分 昭和三十二年三月八日十九時三十分

死亡場所 朝鮮咸鏡南道咸興市康里里康里里

死亡事由 (戰傷) 死者在(六)傷病名(受傷) (戰) 報復敵方(舍)升難(為)

遺骨遺留品 狀況 本人死亡同時埋葬(遺)製(印)值(并)參(家)族(遺)

右確認(證明)す

元所屬部隊名 朝鮮師第三四二七部隊

現住所

元官等級氏名 復員年月日 陸地 昭和三十二年四月二日 陸地 仙崎港

死亡者確認(證明)書

死者所屬部隊名 國籍 平塚陸軍航空隊 隊員名 昭和三十二年四月

徵集年(任官年) 兵役種 兵種 昭和三十二年徵集

死亡者本籍地

官等級(免令年月日) 死亡前陸軍軍屬(免令年月日) 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日

姓名 生年月日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日

死亡年月日時刻 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日

死亡場所 咸鏡南道咸興南中 德里德和寮

死亡事由 (戰傷) 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日

遺骨遺留狀況 遺骨及死遺品 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日

有確認(證明)不

元所屬部隊名 平塚陸軍航空隊 隊員名 昭和三十二年四月

現住 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日

昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日 昭和三十二年三月九日

本居地 湖山某

所属部隊 春部隊 階級(死七等) 陸軍上等兵 氏名

不詳 昭和某年某月某日 時分

2. 現場所 外務省ラウンジール マムラト病院

死七理由 回帰熱

死七理由の理由 小生、院中に死者名簿を知つた。死者名簿に所屬するに於ては、

不詳、遺留品の状況、何もありません。

その他 本籍を道と名づけ、給食を、に籍を道と名づけ、

も知つておりました。彼、母校、入寮の名簿を調べ、見つけました。見れば、

その男が、

姓、名、不詳、

姓、名、不詳、と調査の結果、

と判明、通信調査の結果、と死亡の理由、探明はできぬ、と言ふ。

不詳、と判明、通信調査の結果、と死亡の理由、探明はできぬ、と言ふ。

死亡現認書

第五飛行師團司令部

一 死者所属部隊  
死亡者 菅氏 名 年 令

一 死亡者 菅氏 名 年 令

一 死亡年月日

一 死亡場所

一 死亡状況(成るべく詳しく)

死因

遺骸遺物の位置  
遺物の住所氏名

遺物の住所氏名

死亡年月日

死亡場所

死亡状況

遺物の住所氏名

死亡年月日

47-11

山形

船名 丸一乗船第 中隊 昭和 22年 11月 21日 上陸調査 函館上陸地支局

死亡者 生死不明者 殘留者 覺書

調製者 師郷者 部隊名 階級氏名

原部隊	階級	氏名	區分	理由	山形	所年月日	確度	確度決定理由	本	所在地	遺留品
歩一〇〇	中尉	山田一郎	戦死	戦死	北江	20.10.30	甲	自ら死体收容	函館市本町五	自己持	遺
山砲八八	兵長	田村充郎	殘留	健康	北江	20.10.30	甲	同隊收容所ありし戦友	札幌市北一條		
第一師團	上等兵	北島盛夫	生死不明	戦死不明	北江	20.10.30	乙	同隊の兵より	千歳以下不明		
不明	一等兵	北野正雄	殘留	健康	北江	20.10.30	甲	同隊の兵より	水口賀甲賀郡		
不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明

28-12

認以明書

籍地

本以籍地同之

滿洲派特庫爾親王等六營部隊

矢長

光緒二十一年五月三日

昭和二十一年五月三日

北山場所

北山場所  
戰病死

北山區分

結核性腸膜炎

一戰之狀況

杜度、梁春、失刺、高橋、木、如之

一戰之狀況

五公集

世文快意不常三三五五部隊

現認(死亡)証明書

第三航空通信隊

通称

第九六二中队

昭和 年 月 日

地方世帯部

氏名	佐藤 重雄
生年	昭和 年 月 日
死亡年月日	昭和 年 月 日
死亡時刻	午後 時 分
死亡場所	西宮市北方約五軒
死亡原因	疾病死
死亡診断書	第 号
死亡届出	第 号
死亡届出日	昭和 年 月 日
死亡届出場所	西宮市北方約五軒
死亡届出者	佐藤 重雄
死亡届出者住所	西宮市北方約五軒
死亡届出者職業	自営
死亡届出者年齢	歳
死亡届出者性別	男
死亡届出者婚姻	有
死亡届出者配偶	佐藤 重子
死亡届出者子女	佐藤 重太郎
死亡届出者兄弟	佐藤 重吉
死亡届出者姉妹	佐藤 重子
死亡届出者其他	佐藤 重子

死亡原因	疾病死
死亡診断書	第 号
死亡届出	第 号
死亡届出日	昭和 年 月 日
死亡届出場所	西宮市北方約五軒
死亡届出者	佐藤 重雄
死亡届出者住所	西宮市北方約五軒
死亡届出者職業	自営
死亡届出者年齢	歳
死亡届出者性別	男
死亡届出者婚姻	有
死亡届出者配偶	佐藤 重子
死亡届出者子女	佐藤 重太郎
死亡届出者兄弟	佐藤 重吉
死亡届出者姉妹	佐藤 重子
死亡届出者其他	佐藤 重子

西宮市北方約五軒、佐藤 重雄、昭和 年 月 日、午後 時 分、死亡。死亡原因、疾病死。死亡診断書、第 号。死亡届出、第 号。死亡届出日、昭和 年 月 日。死亡届出場所、西宮市北方約五軒。死亡届出者、佐藤 重雄。死亡届出者住所、西宮市北方約五軒。死亡届出者職業、自営。死亡届出者年齢、 歳。死亡届出者性別、 男。死亡届出者婚姻、 有。死亡届出者配偶、 佐藤 重子。死亡届出者子女、 佐藤 重太郎。死亡届出者兄弟、 佐藤 重吉。死亡届出者姉妹、 佐藤 重子。死亡届出者其他、 佐藤 重子。

右 證明 候 也

昭和 年 月 日

西宮市北方約五軒

佐藤 重雄



現認證明書

本籍地

所屬部隊

(通称)

昭和某年某月某日

氏名

陸軍

年月日

死亡年月日

死亡場所

死亡区分

死亡状況

遺骨等遺留品の有無

右正に現認し證明す

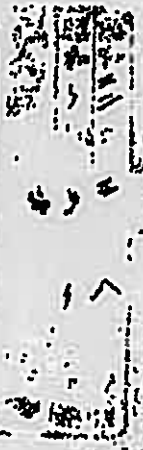
昭和三十一年一月一日

現認者

現住所

旧職官等姓名

死亡者と現認者との関係



13-13

# 死亡現認(確認)證明書

裏面記載上の注意を見て書き下すこと

※(調製日) 昭和29年 2月 1日  
 ※(調製官) 氏名

遺族の処理		死亡の状況				現留守住相当者	本籍地	所属	
遺品	及遺族の処理	死亡区分	疾病時	傷病名	死亡場所			死亡日時	種別
		戦死		敵弾にやり河で溺死	徳島県度支那支隊	昭和二十九年五月二十七日	高九六四部隊	飛行場大隊	兵
遺族の処理 遺品		死亡の状況 戦死				現留守住相当者 氏名		所属 飛行場大隊	
遺族の処理 遺品		死亡の状況 戦死				現留守住相当者 氏名		所属 飛行場大隊	
遺族の処理 遺品		死亡の状況 戦死				現留守住相当者 氏名		所属 飛行場大隊	

昭和二十九年九月十九日越前県に  
 出陣し、同部隊に在りて前部  
 隊と交戦中、上記場所にて敵  
 弾にやられ、河に落ち溺死す  
 事なり。河に落ち溺死す

遺族の処理  
 遺品  
 遺族の処理  
 遺品  
 遺族の処理  
 遺品  
 遺族の処理  
 遺品

# 戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 満洲軍第八二二部隊

一、徵集年 昭十九年 役種 現 兵種 歩兵

一、官 等(死歿前) 一等兵 (死歿後)

一、氏 名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生

一、死歿場所 朝鮮 清津 古茂山 病院

一、死亡原因 事由 帰還途中清津にて中軍及前線間栄養失調より死亡

一、死歿年月日時 昭和十九年 九月 九日

一、死歿者本籍地留守遺属者 [Redacted]

## 右確認(證明)ス

昭和十九年 九月 九日 元所属部隊 [Redacted]

現住所 [Redacted]

元官等級 [Redacted]

氏名印 [Redacted]

(註) 死亡事由、場所ハナシニシテ特ニ経戦後ノ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナリシ者ハソノ前後ヲクワシテ知ラセ下サイ。

宛先

[Redacted]

地方世話部認定保

[Redacted]

20-12

事實証書

所属 通稱 番号 年 月 日 部隊 (朝鮮)

徵集 (結) 年 級 昭和 十九 年 現 補 飛行 二等兵  
 姓名 生年 月 日 年 役 兵

年月日 二一七、一七

死亡場所 朝鮮咸北吉茨山

傷病名 赤痢兼肺結核

一画

本人の死の承知の理由

埋葬所 山首

右證明す

昭和二十二年四月十四日

現任所

所属 陸軍 南陸軍病院 少尉 氏名

遺言 今後 吉茨山 病院 衛生材料科 勤務 昭和二十二年 三月 三十一日 佐世保 上陸

17-12